

[テーマ] 人生の芯となる職業観・仕事観を、人と関わりながら、自ら培っていく

- ・今のありのままの自分と向き合い、これからの自らの人生の生き方を考える
- ・自らが本気で打ち込める価値あるテーマをもって生きる
- ・「私閉人間」から「公開(コミュニケーション)人間」へ、そして「活動(仕事をする)人間」へ

1. 自己紹介「私の人生観」: 本音・本気でありのままを語ろう 4/20

- ・本気で生きようと心に決めたこと、今ありますか? 本気で、考えていること、していること、ありますか? 自らが価値あると思えるテーマをもって生きていますか? 生きてる実感、生きててよかった、との思いをもったことありますか?
- ・本気とは、自らの死と向き合って、人生をどう生きるか、生きる態度を決めること

\* 「私の人生観」or「私の人生テーマ」「私の悩み」「質問」を文章にまとめる / 最後20分間

2. 様々な職業観・仕事観を参考にしながら、「私の職業観・仕事観」を語り合い、深めよう 4/27

- ・尾高邦雄、河合隼雄、司馬遼太郎、村上 龍、サルトル、フランクル、アレント、その他
- ・聞く(=入力) メモを取る(=消化) 語る・書く(=出力・発信=主体的学び)
- ・他人が読んでわかるように書くことによって、自己客観力、表現力、コミュニケーション力を訓練する

\* 「私の職業観・仕事観」or「私が関心を持った考え方」を、メモを参考にしながら、自己を客観視して、他人(相手)に伝え話すように、手紙を書くように、文章にまとめる / 最後20分間

3. インタビューゲーム「私の職業観・仕事観」(インタビューゲーム: 平井雷太氏考案) 5/11

- ・二人一組になって、各々20分ずつ互いにインタビューをし、聞きながらキーワードなどメモを取り、次に相手の身になってメモを基に編集をして、文章にまとめ、互いに赤入れをする。

インタビューに答える / 20分間

: 自らの職業観・仕事観を一人で20分間話すのはなかなか難しいけれど、インタビューされると、自分の思いを自分の言葉で誰でも話すことができる。相手の問いに応じて、自己を客観視し、相手が理解できるように話をすることによって、自己表現力を訓練する。

インタビューをする / 20分間

: 相手の考え方を深く理解するために、共感の気持ちをもって、相手の言葉に寄り添いながらインタビューを進める。誰しも自分を中心に物事を考えてしまいがちだが、ここではできる限り自己の世界から離れ、自己を忘れ、相手の世界に入り込む訓練をする。

インタビューした内容を編集し、文章にまとめる / 20分間

: 聞いた内容メモを基に、相手になったつもりで、自分なりの想像(自分にはこう聞こえた)も織り込みながら、相手の職業観・仕事観を編集し、文章にまとめる。書いたものをその場で相手に見せて赤入れをしてもらおう。聞くだけでなく、共感的想像力を働かせて書くことによって、より深く相手を理解することができる。

4. 3でまとめた文章「私の職業観・仕事観」を公開発表+意見交換 5/18

\* 「私が学んだこと」を文章にまとめる / 最後20分間